

令和6年度都立総合工科高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「読むこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・「書くこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施 ・図書館を活用した読書指導の計画作成	・上級学校進学に向けたレポートの書き方の指導を実施 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・グループでの読書会の授業を実施
数学	基礎的・基本的な知識、技能の確実な習得と、数学的な見方・考え方を育成できるような数学的活動	・基礎基本の繰り返し ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・習熟度展開授業にあわせた教材作成 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	協働を通じた探究活動の充実	課題について、仮説を立て、検証、考察する探究学習を行う。特に実験における協働において、仮説の検証に慣れる。	「探究学習」を踏まえた授業の相互参観を実施
公民	主権者教育の充実	・有権者生徒の投票率70 %以上	政治の仕組みだけでなく、社会を生き抜く力を身に付けさせる。
地理歴史	主権者教育の充実	・歴史的視点、地理的視点から現代の社会の現状や問題点を捉える教材の開発	現代の社会問題を理解し、自ら考え、意見を表明する活動を行う。
英語	「話すこと」「語彙力」の指導の充実	・週1回の単語テストの実施 ・ALTと協働で教材を開発し、パフォーマンステストを実施	・習熟度クラスに合わせた教材研究 ・1学年はTGGでの体験を通し、英語への取組みに対して刺激を与える。 ・パフォーマンステストを実施することにより音読・スピーキングに重点をおく